

1 研究主題

租税についての関心を高め、税金の必要性を理解することのできる児童の育成
～税に関する単元の、身近な事例と関連させた学習を通して～

2 主題設定の理由

税に関する学習は、小学校学習指導要領社会編では第6学年の指導内容として示されている。「税金」という言葉は日常的に耳にするものの、どのような仕組みなのか、どのように集められているか、どのように使われているか理解している児童は少ない。これから大人になって納税の義務を負っていく児童にとって、租税に関する関心を高め、その必要性を理解することは、社会生活を営む上で必要不可欠と考える。

単元の学習を身近な事例と関連させながら進めることで、税の役割や必要性を実感し、理解することができると考え、主題を設定した。

3 研究目標

租税教育の実践を通して、児童が租税に関する関心を高め、税金が自分たち国民の生活に必要なことを理解できる授業の在り方を明らかにする。

4 研究の方法

- (1) 社会科の単元「わたしたちのくらしと日本国憲法」「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」における学習を通して、租税に関して学び、税についての関心を高める。
- (2) 単元のまとめとして新聞づくりに取り組ませ、身近なものとして捉えられているか分析する。
- (3) 単元テストの記述問題から、税の必要性についての理解の様子を分析する。
- (4) 掲示した新聞を互いに読み合わせ、成果の共有を図る。

5 研究計画

社会科の単元授業を通して主題に迫る。(6年1組 33名)

令和5年4月	単元授業「わたしたちのくらしと日本国憲法」	6時間	うち1時間
5月	単元授業「国の政治のしくみと選挙」	5時間	うち1時間
5月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	4時間	
6月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	3時間	うち1時間
	発展学習「わたしたちのくらしと税金」	1時間	
	新聞づくり	2時間	
	単元テスト	1時間	
	新聞の掲示	次の単元新聞まで	

社会科の単元授業を通して主題に迫る。(自閉症・情緒障害学級 6学年3名)

令和6年4月	単元授業「わたしたちのくらしと日本国憲法」	6時間	うち1時間
5月	単元授業「国の政治のしくみと選挙」	5時間	うち1時間
5月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	4時間	
6月	単元授業「子育ての願いを実現する政治」	3時間	うち1時間
	発展学習「わたしたちのくらしと税金」	1時間	
	単元テスト	1時間	

6 研究の概要

(1) 指導計画

月	学習内容とまとめ	評価規準
4	わたしたちのくらしと日本国憲法 ③くらしの中の基本的人権の尊重 日本国憲法の基本的人権の尊重に基づいて行われている身近な取り組みには、国民の生まれながらの権利を保障するものがある。	知 基本的人権の尊重の考え方が市や国の政治に反映されていること、国民の権利、国民の三大義務について理解する。
5 (実践1)	国の政治のしくみと選挙 ②選挙のしくみと税金の働き 国会での話し合いは、国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員によって進められる。国の税金の集められ方や使われ方は、国民の代表である国会議員によって決められる。	知 国会の役割について、教科書や資料集で調べ、選挙のしくみや財源の配分、国会や地方議会などの制度について理解する。
5 (実践2)	子育て支援の願いを実現する政治 ⑤児童センターをつくるための費用 人々の願いを実現するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。税金は私たちの生活や社会を支える大切なものである。	知 児童センターの建設費用には税金や補助金が使われていることを理解する。
6	わたしたちのくらしと税金（発展） ⑥税金がなかったらどうなるのかを調べる。国税庁HPより動画視聴。	知 児童センター以外にも、身近なところで税金が使われていることを理解する。
6	子育て支援の願いを実現する政治 ⑦⑧学習して分かったことを新聞にまとめる。	思判表 国や地方公共団体の政治の取り組みと税金および国民生活を関連付けて政治の動きを表現している。 知 市の政治と税金は、わたしたちの生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解する。
7	子育て支援の願いを実現する政治 単元テスト	

(2) 授業実践の概要
(実践1)

段階	学習内容 主な発問(・) 児童の反応(○)	指導上の留意点
導入	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金とはどのようなものでしたか。 ○消費税，みんなのために使う，大人が払う，教科書をもらえる ・では，どのようなしくみで，使っていくのですか。 ○国会，政治家，わからない ・その政治家とはどうやって決めている人たちでしょう。 ○選挙 	
展開	<p>2 課題をつかむ。</p> <p>選挙のしくみや税金の働きについて調べよう。</p> <p>3 選挙のしくみを知る。</p> <p>A…お年寄りの人口が増えているので医療に関する公共的なサービスを維持するために，消費税を増税します。</p> <p>B…国民に負担のかかる増税は，するべきではありません。まずは，現在の税金の使われ方を見直すことが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治に携わる人を選ぶのは18歳以上の国民です。これから皆さんに18歳以上になったつもりで，選挙をしてもらいます。どちらの党に投票しますか。 ○A 2名，B 29名（欠席2名） <p>4 教科書P.27から，税金の集められ方と使われ方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金は，選挙で選ぶポイントの1つになりますね。教科書の資料3から税金の集められ方と使われ方を調べましょう。 ○税金って国だけじゃないんだ。 ○消費税しか知らなかった。 ○住んでいるだけで税金取られるの？ ○医療にも税金が使われているんだね。 ○学校教育って教科書だけじゃないの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙権を持つ18歳以上の国民は誰でも自分の考えに近い候補者に投票できること，投票率が下がっていることを資料から読み取る。 ・消費税以外に様々な税金が集められていること，国や都道府県，市町村による公共サービスや公共施設にかかる費用は税金によってまかなわれていることを知らせる。
まとめ	<p>5 学習したことをまとめる。</p> <p>国会での話し合いは，国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員によって決められる。</p> <p>国の税金の集められ方や使われ方は，国民の代表である国会議員によって決められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投票するということは，税金をどのように納め，どのように使うかを自分たちで決めることになることに気付かせる。

(実践2)

段階	学習内容 主な発問(・) 児童の反応(○)	指導上の留意点
導入	<p>1 児童センター（あすばる）の建設費や運営費について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あすばる」の建設費はいくらぐらいだと思いますか。 ○十億円，五億円，三兆円，分からない ・約1億4千万円だそうです。 ○高い，へえ，意外と安い，高いのかどうか分からない。 ・運営費としては，年間2千万円かかるそうです。利用者は基本的には無料ですが，かかる費用はどこから出ているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1億4千万円がどのくらいの金額か，身近なことを例に計算して考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>時給800円でアルバイトすると，1日8時間，月間20日間で12万8千円。90年働いても1億4千万円にならない。</p> </div>
展開	<p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あすばるをつくる費用は，どこから出ているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○市役所，国 ○愛島では，おやつ代は親が払っている。 ○職員の給料は？ <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の資料を見て考えてみましょう。 ○税金なんだ。 ○補助金って何？ <ul style="list-style-type: none"> ○そうなんだ。 ○なんでも税金が使われているんだね。 ○だから義務なの？ ○利用料は無料だけど，ちゃんと払っているのと同じことだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P.42 の資料や教材文から，あすばるの建設費や運営費に税金が使われていることを知る。 ・地方交付金などの補助金も国や県に納められた税金であることを知らせる。 ・教科書 P.43 の資料から，児童センターだけでなく，様々な公共事業に税金が使われていることに気付かせる。
まとめ	<p>3 学習したことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>人々の願いを実現するための費用には，市民や会社などから集められた税金が使われる。税金は，わたしたちの生活や社会を支える大切なものである。</p> </div>	

R6年度はこの後，租税教室を実施した。参加できたのは1名だった。参加できなかった児童のために，後日学級で再度国税庁HPの動画を視聴した際には，3名とも内容に反応して「どういうこと？」「ひどい」「そうなんだ」等とつぶやきながら視聴していた。

(3) 児童のまとめ (R5) から

① あなたのくらしで、税金がなかったら困ることの例を1つ書きましょう。

(テストの記述問題 1名欠席, 1名記述なし)

- ・道路や学校, 公園が壊れても直せなくなる 11名
 - ・学校がなくなる (▲) 5名
 - ・教科書や給食を買わなければいけなくなる 4名
 - ・道路を通るためにお金を払うことになる 3名
 - ・ゴミが処分されないから汚い町になる 3名
 - ・学校を建てられないし, 教科書もなくなる (▲) 1名
 - ・公園で遊べなくなる 1名
 - ・火事になっても自分でお金を払わなければいけない 1名
 - ・犯罪が起きても警察が動かなくなる 1名
 - ・施設で働く人の給料が少なくなる (▲) 1名
- (※ ▲は極端な解釈と思われる回答)

② 児童の書いた新聞から (抜粋)

- ・税金があることで子供たちが安心して過ごすことができることが分かった。
- ・僕の住んでいる名取市がこんなに便利なのは, 市役所, 市議会, 国, 県, 税金のおかげなんだと思った。
- ・私たちが払っている税金は, 国や市で役立っていると分かった。また, 施設を1つつくだけでも, 国や市や県が協力しているんだと思った。
- ・私も児童館を利用したことがあるが, 建設するまでにたくさんの人が関わっていることなどを考えたことがなかった。名取についても調べてみたい。
- ・児童センターができるまで, いろいろな人たちが協力して, 話し合っって建設されていることが分かった。

7 成果と課題

(1) 成果

まとめの記述から, 事前よりも税金について理解できている児童が増えていることが分かる。学校や児童センターだけでなく, 私たちの生活の多くのことに税金が使われていることを驚くと共に, 税金が, 国民生活の向上と安定のために重要な役割を果たしていることを感じる事ができた。

国税庁 HP 掲載の動画を視聴したことで, より生活と結び付けて捉えることができた児童が多かった。特別支援学級の児童も内容を覚えていて, テストの時に「(税金がなくなったら困ることの例を書く問題に) 信号機が使えなくなる。」と答えることができた。一方で, 学校がなくなってしまう, 道路全てに通行料が必要であるというように極端に捉えてしまう児童もいた。

R5年度の実践を基に, R6年度の学習を進めたが, 前年度の児童が使った言葉を説明に入れることで, 特別支援学級の児童が納得して理解につながるがあった。

(2) 課題

単元学習を中心に進めたが, 名取市など身近なところでは, 税金の使い道や決め方はどうなっているのか等, 児童が事後に持った疑問や学習に対する関心を発展的に扱う調べ学習はできなかった。児童の意欲を喚起し, じっくり調べていくような時数の配当を検討する必要があると感じた。

理解が十分ではない児童に対して, 自主学習として継続的に復習に取り組めるような学習課題の提示, 調べる手立ての提示などを検討していきたい。